

〇4年振りに裸祭完全復活

見付天神裸祭が4年振りに完全復活を遂げました。令和2年の正月頃以来、新型コロナの感染が日本を襲い、見付天神裸祭も令和2、3年と殆どの行事ができず「中止」を余儀なくされ、昨年令和4年矢奈比賣様の御渡り・神輿渡御など一部の行事を再開するに留まりました。今年は令和元年まで実施していた諸行事の全てを完全復活させることができました。見付地区の住民の方々、宮司はじめ神社関係の方々、自治会関係者の方々、三社氏子崇敬者会の方々、裸祭実行部会の方々、青年部の方々、各町保存会の方々、さらに子供連の運行にあたっては子供会関係者の方々、みなさんのご協力を得て、諸行事を全て行うことができました。ありがとうございます。多くの観客のみなさんにも見ていただき、楽しんでいただけたと思います。

裸祭の諸行事、4年振りの開催ということでしたが、やはり3年間のブランクは大きく、観客の安全、交通安全などにいくつかの問題もあったことは事実です。現在今年の祭りの課題を保存会あげて確認しております。今年の祭りの問題点、お気づきの点ありましたら、各町保存会、保存会事務局等へお知らせいただけると幸いです。来年の祭りが安全で楽しい祭りに成りますよう、皆さまの英知をいただきたいと思ひます。

（会長・中山正典）



浜垢離での海浜修祓（玄社・東智昭氏撮影）



今年の裸祭・拝殿での鬼踊り（玄社・東智昭氏撮影）

〇渡御、暗闇に祭りの意義を感じて

令和5年度の見付天神裸祭りも天候にも恵まれて無事一連の神事を執り行うことができました。4年ぶりの開催のため当初参加者や観覧者の把握が難しく、警備の体制そのものも手探り状態だったと思います。令和元年度以前の通常運転を目標にスタートしましたが、状況の変化に伴い関係各署のご指導をいただきながら、開催できたことに喜びを感じます。

大祭に関しては以前のようなお祭りをイメージして参加しましたが、3年というブランクとともに時代の変化を感じました。裸祭の参加者はしきたりのなかで、お祭りを行います。ただ鬼踊りで騒ぐだけでなく、矢奈比賣様を渡御、還御させることにこの祭りの意義を感じております。

当然観客の皆様にも渡御での暗闇をつくること（タバコの火、スマホの灯を一切付けない）が求められます。これらのしきたりを守れない観客に対して高飛車な物言いで消灯を求めますが、全て神事ゆえの行いです。私たちは観客の皆様と一緒に矢奈比賣様への奉仕を行っているものと考えております。どうぞご理解とご協力をお願いいたします。

全てにおいて一からのスタートを切った年だったと思います。今後も多くの方々よりご意見を伺いながら将来に向けての見付天神裸祭を行えるようにしていきたいと思ひます。ありがとうございました。

（実行部長・伊藤兆彦）

【城山中学校—よつばプロジェクト】

城山中学校では「よつばプロジェクト」の裸祭関連活動として「裸祭スローガン」づくり、“すがりの藁”作り、「見付天神裸祭」を学ぶ会が1年生全員で行われました。三社氏子崇敬者会の方々、城山中学PTA有志の方々、城山中学1年の先生方のご協力を得て、実施することができました。

◆城山中1年生が“すがりの藁”づくりを体験しました

令和元年までは腰蓑を作っていたものを、令和2年から各家庭で玄関または鬼門の方向に吊るしておく縁起物として「すがりの藁」作りが行われるようになりました。

令和5年度も8月31日に崇敬者会の人たちが城山中学へ藁を搬入し、各教室で藁のハカマ取りを行いました。この日、ハカマ取りの前に、保存会の大橋事務局長が講師となって裸祭の学習会が行われました。エアコンの効いた涼しい教室で中学1年生のみなさんは、裸祭の説明を注意深く聞き入っていました。

9月14日にPTA・崇敬者会役員、保存会有志の方々が準備、指導して、午後1時半から城山中学の体育館で、すがりの藁を中学生ひとりひとりが作っていききました。この日は猛暑が続いていた新学期早々の灼熱の午後でした。熱心に藁細工をする中学生の姿は輝いていました。



教室での藁のハカマ取り



体育館でのすがりの藁づくり

保存会では優秀な作品を3点、表彰しました。中学生たちは腰蓑を作る要領でこの縁起物を作ることができていることに感心していました。すがりの藁作りの優秀作品は次のとおりです。

- 最優秀賞 寺澤 桜来さん(4組)
- 優秀賞 澤田 遥さん(2組)
- 優良賞 堀内 葉月さん(3組)

今年度の優秀作品



【城山中学校—よつばプロジェクト】

(令和5年度ガイドブックから再掲)

◆城山中1年生が見付天神裸祭スローガンを作成しました

今年度のガイドブックでも報告しましたが、城山中学校1年生全員に裸祭のスローガンを作ってもらいました。9月14日、すがりの藁作りの作業の前に、最優秀賞、優秀賞、優良賞を表彰させていただきました。新型コロナ禍の中、裸祭の伝承に苦戦している保存会を励まし、裸祭の復活に期待を寄せてくれるスローガンが多かったこと、保存会として大変うれしく思います。中学生の応援をもらったことで、この素晴らしい裸祭を復活させ、保存伝承していこうと決意を新たにさせていただきました。

- 最優秀賞 7組 山下 心晴さん(美登里) 「我らの伝統 裸祭 ここまで繋げた 思いを引き継ぐ」
- 優秀賞 5組 井櫻 美玲さん(東坂町) 「燃えよ魂 見付の伝統ある祭りを今一度」
- 優良賞 1組 光岡 大輝さん(東大久保) 「繋ぐ～伝統的な裸祭りを未来につなごう～」

○今後の予定

- 11月18日(土) 19:00～ 実行部会・青年部会(交流センター)
- 11月26日(日) 19:00～ 理事会(矢奈比賣神社つつじ館)
- 2月29日(木) 次年度警固長・青年部員報告

※今年度の各町警固長はホームページから入力ください。詳細は後日お知らせします。